

● 地域産婦人科医療における 統合的医療DXの推進

岡山大学病院 産科婦人科 吉備中央町デジタル田園推進協議会アーキテクト(医療・介護) | 牧 尉太

2022年4月、岡山県吉備中央町がデジタル田園健康特区に指定され、日本のデジタル田園国家構想の先駆けとなった。

設計者として、デジタル実装のための補助金獲得と規制改革を主導し、個人健康記録 (PHR) の活用を可能にした。現在、救急、母子健康促進、遠隔医療サービスがデータ連携基盤を通じてサポートされている。我々は、コスト、データ交換、自治体間協力、ID関連などの課題に対し、防御的措置と実証実験を通じて取り組んできた。しかし、地域活性化には攻めの戦略も重要である。住民によるデータ提供、自治体によるデータ流通基盤の維持、大学や企業によるデータ活用のバランスを取ることが求められる。産婦人科領域では、母子健康促進と子育て支援に関するサービス実装、デジタル化推進、そしてデジタルデータ駆動に向けた規制緩和の提案を行ってきた。医療ポータルアプリや個人認証の利用促進にも取り組んでいるが、高齢者の登録には時間がかかるなどの課題がある。また、法的要件により、デジタル同意や契約行為の普及に障害がある。これらの取り組みを通じて、吉備中央町はデジタル技術を活用した地域医療の改革と地域活性化のモデルケースとなることを目指している。今後は、これまでの成果を基に、さらなるデジタル化の推進と、それに伴う課題の解決に取り組んでいく必要がある。特に、高齢者を含むすべての住民がデジタルサービスを容易に利用できる環境の整備と、データの安全な利活用を促進する仕組みの構築が重要な課題となるだろう。

Kibichuo Town in Okayama became a Digital Rural Health Special Zone in 2022, pioneering Japan's digital rural initiative. As the architect, I've led grant acquisitions and regulatory reforms, enabling Personal Health Records (PHR) utilization for emergency, maternal health, and telemedicine services. We've addressed challenges like costs and data exchange through defensive measures and studies. However, regional revitalization requires an offensive strategy, balancing data provision by residents, infrastructure maintenance by municipalities, and data utilization by academia and businesses. In obstetrics, we've implemented maternal health services and proposed digital-driven reforms. Challenges persist in elderly user registration and digital consent adoption due to legal requirements.

● はじめに

政府が強力に推進するデジタル田園都市国家構想の先導役として、2022年4月、「デジタル田園健康特区」に岡山県吉備中央町が指定された。本構想は、デ

ジタル技術を活用し、複数の改革志向の都市が連携して地方が直面する少子高齢化や人口減少・女性／若者の活躍の機会向上などの課題解決を健康医療分野の規制改革を目指すものである。本学からは、統括・事業実施アーキテクト(事業推進統括者)の2名に加えて、大学ならびに大学病院でデジタル田園健康プロジェクト

として大学全体で本プロジェクトに参加している³⁾。特区を構成するのは、健康医療分野で提案した岡山県吉備中央町、長野県茅野市、石川県加賀市である。町からの任命によりアーキテクトとして、内閣府事業やデジタル田園交付金事業の採択に尽力し、デジタルサービスの実装や規制改革提案の実現に邁進してきた。